

令和4年4月利府町教育委員会定例会会議録

- 1 **開催日時** 令和4年4月27日（水）
午後1時00分から午後2時15分まで
- 2 **開催場所** 利府町役場 第1会議室
- 3 **出席委員** 本 明 陽 一 教育長
石 川 一 美 委員（教育長職務代行）
高 田 修 委員
高 橋 百合子 委員
- 4 **欠席委員** 村 松 淳 司 委員
- 5 **説明のため出席した者** 教育部長 菊 池 信 行
教育総務課長 大 谷 浩 貴
生涯学習課長 鎌 田 輝 久
教育総務係長 加 藤 典 子
教育総務係主任 渡 邊 理 紗
- 6 **傍聴者** なし
- 7 **令和4年3月定例会会議録の承認**
特に意見なく承認。
- 8 **本定例会会議録署名委員の指名**
石川一美委員と高田修委員を指名。
- 9 **一般事務事業報告及び事業計画**
（説明者：菊池教育部長）
一般事務事業報告及び事業計画について説明。
特に意見なく承認。
- 10 **専決処分報告**
報告第8号 利府町社会体育推進員の委嘱について
（説明者：鎌田生涯学習課長）
利府町社会体育推進員について、名簿のとおり専決したので報告します。

なお、任期については、資料に記載のとおりとなっています。

(質疑) なし

報告第 9 号 利府町公民館分館長の委嘱について

(説明者：鎌田生涯学習課長)

利府町公民館分館長について、別紙名簿のとおり専決したので報告します。なお、任期については、資料に記載のとおりとなっています。

(質疑) なし

報告第 10 号 利府町文化芸術振興審議会委員の委嘱について

(説明者：鎌田生涯学習課長)

利府町文化芸術振興審議会委員について、名簿のとおり専決したので報告します。なお、任期については、資料に記載のとおりとなっています。内容としまして校長先生の異動に伴い、後任の校長へ委嘱したものととなっています。

(質疑) なし

報告第 11 号 利府町社会教育委員について

(説明者：鎌田生涯学習課長)

利府町社会教育委員について、名簿のとおり専決したので報告します。なお、任期については、資料に記載のとおりとなっています。内容としまして校長先生の異動に伴い、委嘱したものととなっています。

(質疑) なし

1 1 議 案

議案第 12 号 土曜日における子どもの居場所づくり事業活動コーディネーターの委嘱について

(説明者：鎌田生涯学習課長)

土曜日における子どもの居場所づくり事業活動コーディネーターについて、資料に記載の名簿のとおり委嘱するものであります。3 名の方は前年度と同じ方々で再任であります。

(質疑) なし

議案第 13号 利府町放課後子ども教室推進事業コーディネーターの 委嘱について

(説明者：鎌田生涯学習課長)

利府町放課後子ども教室推進事業コーディネーターについて、資料に記載の名簿のとおり委嘱するものであります。1名の方が再任で1名の方が新任であります。任期については令和4年5月1日から令和5年3月31日までとなっております。前年度は第三小学校でのみ実施でしたが、今年度からは青山小学校においても実施するものであります。

(質疑) なし

12 協議事項

(1) 教育振興基本計画(第2期)策定について

(説明者：大谷教育総務課長)

教育振興基本計画策定につきましては前年度の定例会において大まかなスケジュールをご説明しておりました。令和4年2月に委託業者が決定いたしましたのでご報告を申し上げます。株式会社ぎょうせいというところで、以前の第2期の教育振興基本計画策定についても携わっていただきました。それでは資料に沿ってご説明いたします。

策定の主旨について、現行の計画が令和4年度において満了となることから新たに本町の教育行政において目指す姿を明確にするため、策定するものです。計画の位置づけにつきましては、記載のとおりとなり、計画期間を10年間といたします。創造、自立、協働の3つの理念を継承しつつ、SOCIETY5.0(ソサエティ)「超スマート社会」の視点から「ICT教育」や「GIGAスクール構想」の充実を図り、利府町教育振興基本計画策定において、計画を推進する視点の一点として、持続可能な地域社会の構築に役立てていきます。SDGSの実現につきましては、総合計画における教育分野の取組を踏まえながら策定いたします。

策定に係る体制については、策定主体は利府町教育委員会であります。総合教育会議にて地域の実情に応じた総合的な施策を策定するため、法律の定めるところにより、教育振興計画に掲げる基本方針及び計画の目指す姿、計画の目標、教育施策の基本方向を定めるよう努めなければならない。とあり変更しようとするときはあらかじめ総合教育会議において協議するものとなっております。

教育振興基本計画検討委員会につきましては、9名の方々を委員として5月11日に第1回目の検討委員会を開催する予定であります。

町民意向調査につきましては、アンケートを考えておりますが、追加調

査範囲として、教職員及び利用団体を追加する予定です。アンケート調査票ですが、別添のとおりとなっております。自己肯定感についての問いやヤングケアラーについての設問を追加しております。

(質疑)

石川委員

アンケートの調査内容は、生徒・教職員・保護者・一般住民それぞれ違った内容になるのですか。

加藤教育総務係長

はい、児童生徒と保護者それぞれ別のアンケート内容として案を提出させていただいております。今回、利用団体のヒアリング調査を行いますが、教職員については新たにアンケート調査の案を作成させていただきました。

本明教育長

内容の違いはどんなところですか。

加藤教育総務係長

児童生徒に関しては前回の調査と同じであります。教職員に関しては、利府町への思いや学習について・働き方に関する質問を入れております。

高田委員

アンケートにヤングケアラーについて織り込んだとのことでしたが、どこの部分でしょうか。

加藤教育総務係長

選択肢の中に家族の世話を子どもがしていますかという選択肢になります。

高田委員

それは保護者向けの質問になりますか。

加藤教育総務係長

そうですね。

高田委員

子ども自身に質問をしなくてもいいのですか。

大谷教育総務課長

子どもにも聞かなければならないことかと思っておりますので、質問を入れさせていただきます。

高田委員

この機会に LGBT を感じ取っている子どもがどのくらいいるのか把握したいのですが、アンケート用紙は保護者が見られるのですか。

加藤教育総務係長

学校で記入するので保護者は見ることはできません。

大谷教育総務課長

検討させていただきます。

13 報告事項

(1) 生涯スポーツ活動派遣事業費補助金交付要領の改正について

(説明者：鎌田生涯学習課長)

資料の 29 ページが改正後の全文となっております。生涯スポーツへの活動の派遣、芸術文化活動の派遣に係る補助金の交付対象が第 2 条、補助金の額が第 3 条になっており、別表が 32 ページになっております。

これからはスポーツの分野、芸術文化の分野、両方に補助金を交付します。補助金の金額も引き上げさせていただきました。

(質疑)

高田委員

金額を引き上げたとのことですが、どのくらいでしょうか。

鎌田生涯学習課長

別表とお話する内容を見比べて頂きたいのですが、まず東北大会・地方大会はこれまでになかった区分であり新設であります。国内の大会は 10,000 円だったものが 20,000 円、国外の大会は 30,000 円から 50,000 円に引き上げられたものであります。

石川委員

金額について国外で開催する大会の 50,000 円では足りないのではないですか。

鎌田生涯学習課長

現実的には渡航費の一部にしかならないとは思いますが、金額を上げて努力しているのであります。ご理解いただけますと幸いです。

石川委員

東北大会が新設になったのは良いことです。例えば宮城で東北大会が開催された場合も対象になるのですか。利府で開催された場合も対象になるのですか。

鎌田生涯学習課長

補助金は旅費・宿泊滞在費・食事代・大会参加費の関係費用であります。

高田委員

5,000 円を超えないともらえないのですか。

鎌田生涯学習課長

上限が 5,000 円ですので、それ以下の場合にはかかった費用分が対象となります。

高田委員

利府の開催でも参加費用がかかるのであれば対象になるのではないのでしょうか。

鎌田生涯学習課長

持ち出しがある場合は対象となります。

(2) (仮称) 中央児童センター内における郷土資料館について

(説明者：鎌田生涯学習課長)

現在町では郷土資料館が閉じているわけですが、仮設の郷土資料館を旧公民館の 3 階部分にということ町から示されております。現段階で検討している内容となります。運営方法ですが、文化財関係につきましては文化財を整理する部分、それを保管しておく部分、それを公開して見ていただく部分、3 つ関連する部分があります。これを切り離すと現場にて不都合が出てくるとのことで、(仮称) 郷土資料館につきましては生涯学習課が直接運営をしていくこととなります。運営にあたる職員につきましては会計年度任用職員を 2 名体制で配置するものであります。1 階 2 階部分の中央児童センターにつきましては、指定管理者制度を導入して民間にお任せする流れで進んでおります。1 階～3 階まで 1 棟の建物になっているので、建築物・建物の管理は指定管理者、3 階の運営面に関しまして生涯学習課で対応するものであります。開館時間ですが児童センターの平日の開所時間に合わせて考えております。土日の団体申し込み、視察等の対応は生涯学習課職員で対応しようと考えております。1 年間の運営費の試算ですが概算ではありますが会計年度任用職員 2 名分の人件費が主となっております。運営に係る財源につきましては文化庁補助金が継続して入ってくるであろうということで、このような形で令和 6 年度より(仮称) 中央児童センター内における郷土資料館を運営していくこととお示しさせていただきました。

高橋委員

指定管理者はすでに決まっているのですか。

鎌田生涯学習課長

まだ決まっておりません。まずは改修工事を 4 年度・5 年度で進めていき、子ども支援課が令和 5 年度に募集をかけて民間の業者を決めていく形になります。

高田委員

中央児童センターで現在の事業を続けるとのことですか。

鎌田生涯学習課長

児童館の機能に加えて、児童センターでは軽く運動ができるスペースも確保することによって屋外にバスケットコートを設けたり、ダンスができる場所を作ったり、運動機能も含まれる流れとなっているとのことでもあります。

高田委員

子供の遊び場的な要因があるのでしょうか。

鎌田生涯学習課長

はい、無料で自由に 18 歳までの子供達が来て遊んだり、企画に参加したり出来るようになっております。

石川委員

建物のみを指定管理者が管理するのは大丈夫なのでしょうか。建物の管理と運営を統一した方が利用者も分かりやすいのではないのでしょうか。

鎌田生涯学習課長

文化財を整理・保管する仕事を民間にお願いすることはできません。教育委員会にてやるべき業務だと思います。展示の部分と切り離すのは難しいと考えて 3 階部分は生涯学習課が運営していく方向です。利用者にご不便がないように、新しく壁を作る等の対策をして指定管理者と運営者の区別がつくようにしていくものであります。

石川委員

郷土資料館だけ別にできないのでしょうか。中央児童センターと同じ建物にする必要があるのですか。

鎌田生涯学習課長

ここに至るまでに郷土資料館の展示の部分だけ指定管理者にお任せすればいいのではという議論もございました。現在は旧郷土資料館のプレハブ、そのあと利府小児童クラブがあったプレハブを使用しております。それを継続して活用すればいいのではとのお話もありましたが、建物自体の老朽化と出土品関係が増えていく一方で手詰まりになって、作業するのも環境面で悪くなっています。別の場所に文化財を整理するための場所の確保が難しい状況であります。

菊池教育部長

リフノスの第 2 工期ができるまでの仮住まいのようなものであります。

石川委員

一時的な仮住まいという形でしたら問題ないかと思えます。

(3) 子ども読書活動推進計画アンケート結果について

(説明者：鎌田生涯学習課長)

平成 28 年度に作成した計画の成果と課題を明らかにして、改めて基礎データを収集するために実施したアンケートであります。調査期間は令和 4 年 1 月 17 日から 28 日の間で調査対象につきましては①～④の児童生徒・教職員・保育士・保護者をお願いしておりました。回収率は 75.1%となっております。

(質疑)

高田委員

親世代も読書する方が少なくなっているのも子どもも減少傾向にあるのではないのでしょうか。大人も巻き込まないと増加はしないかと思いません。

高橋委員

アンケート結果には電子書籍も含まれているのでしょうか。

鎌田生涯学習課長

今回のアンケート結果は紙ベースのものになります。次の計画案を作成している最中なので、電子図書も含めたアンケートも考えていきます。ブックスタートということで、子どもが小さいうちから読み聞かせ等に取り組んでいける、新しい時代での図書の変化についても新計画の中に織り込んでいければと思います。

高田委員

教育委員会としてブックスタートに関わっていただけるのであれば、1 ヶ月健診、2 ヶ月健診など早めにしていけるといいと思います。

(4) 令和 3 年度図書館利用者アンケート結果について

(説明者：鎌田生涯学習課長)

リフノスの指定管理者が利用者アンケート調査をして今後役に立てようまとめた調査報告書になっております。令和 3 年の 12 月に調査をして回答件数は 131 件となっております。

(質疑)

石川委員

OPAC が検索しづらいとありますが、本と OPAC は連動しているのではないのでしょうか。リフノスの OPAC は検索したら場所を表示して案内してくれるものではないのでしょうか。

鎌田生涯学習課長

ここでのご意見は検索した番号の本棚が何処にあるのかわからないと
のことかと思われます。

石川委員

場所が分からないと OPAC の意味がないと思うので改善を検討して頂
きたいと思います。

(5) 国・公・私立高校進路状況について

(説明者：大谷教育総務課長)

資料 6 については町内 3 つの中学校の合計数字になります。別冊に
て各学校の合計数字になり、全部で 373 名の進路が記載してございま
す。近年は様々な学校・コースがあり、生徒の立場になれば選択肢が
増えていて良い傾向だと思えます。

(質疑)

なし

(6) 各小・中学校の状況について

本明教育長

(6) 各小中学校の状況については、個人情報が含まれるので秘密会とする。

1 4 事務局からの連絡事項

(1) 小学校運動会及び中学校体育祭実施予定について

小学校の運動会が 5 月 28 日 (土) に、中学校体育祭が 5 月 21 日 (土)
に開催されます。

(2) 令和 4 年 5 月定例会の開催について

次回開催予定日は、令和 4 年 5 月 25 日水曜日午後 1 時からとしたいと
思います。

1 5 閉会